

CONTENTS

- 02 みやざき TOPIX
- 03 INFORMATION
- 04 特集1  
子育て親子をサポート  
地域子育て支援センター・  
子育て交流ひろば
- 06 特集2  
知っていますか？  
地域の見守り・つなぎ役  
民生委員・児童委員
- 08 特集3  
広がる宮崎の農畜産物！  
世界へ羽ばたけ!!
- 10 市役所の組織が変わりました
- 11 キラリ！高石 あかりさん  
(宮崎市出身 俳優)
- 12 応急手当の方法や知識がWEBで学べます
- 13 ひなたDish  
ズッキーニとエビのかき揚げ
- 14 Fun Fun Fun
- 17 健康・福祉
- 18 子育て
- 19 情報ひろば
- 22 読者の声／自治会「宝」自慢  
市長コラム
- 23 クロスワード

※掲載の情報は4月1日現在のものです。  
新型コロナウイルス感染症の影響により  
イベント中止などの可能性があります。  
詳しくは主催者にお問い合わせください。



MIYAZAKI CITY

市コールセンター

TEL 25-2111

月～金曜日(祝・休日を除く)

[受付時間] 8:00～17:15

市役所のさまざまな制度や手続き、施設案内  
など、気軽にお問い合わせください。このほか、  
市政に対する要望などもお受けしています。

FAX 38-4894

MAIL mzkwebm@city.miyazaki.miyazaki.jp

※ファクス・メールは、24時間受け付けています

QRコードから  
市政に関する  
情報を配信中!



人口と世帯数 4月1日現在(前月比)

- 人口: 399,425人(-782)
- 世帯数: 185,992世帯(+364)
- 男性: 188,316人(-466)
- 女性: 211,109人(-316)

新型コロナウイルス感染症に関わる  
緊急事業者支援金のご案内

事業の継続と経営安定を図るため、売上が減少している事業者に対し、  
支援金を支給します。

**対象** 宮崎市に本社がある中小法人等または宮崎市に住所を有する個人事業者  
※詳細については市ホームページをご覧ください。

**支給額** 1事業者につき20万円

- おもな支給要件**
- ① 「宮崎市新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」および他自治体を実施している同趣旨の協力金を受給しておらず、今後も受給の見込みがないこと。
  - ② 令和4年1月から3月までのいずれかの月の売上高等が、平成31年から令和3年までの間のいずれかの年の同月(基準月)の売上高等と比較して70%以上減少していること。
  - ③ 基準月の売上高等が20万円以上であること。  
※国の「事業復活支援金」および県の「県内事業者緊急支援金」との併用は可能です。

**申請期間** 4月18日(月)～6月17日(金)

※申請書類を郵送または窓口(要予約)へ持参してください。申請書類は市ホームページからダウンロードまたは工業政策課、総合支所、地域センター、地域事務所にて配布しています。



▲市ホームページ  
はこちら

お問い合わせ先 工業政策課支援金窓口(44-3901)

普段の生活の中で  
あらためて感染対策を徹底しましょう!

ひとりひとりの心構えが、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。気をゆるめることなく、引き続き感染対策の徹底をお願いします。

- 正しいマスクの着用
  - ・会話時は必ず着用しましょう
  - ・あごの下までしっかり伸ばし、鼻を覆うように着用しましょう(不織布マスク推奨)
- こまめな手洗い・手指消毒
  - ・共有物を触ったあとや食事の前後、公共交通機関を利用したあとなどには必ず行いましょう
- ゼロ密の徹底
  - ・密接、密集、密閉を避けましょう



⚠ 体調不良のときは出勤、登校を控え、早めの受診をお願いします。



新型コロナウイルス感染症に関するご相談先  
宮崎市新型コロナウイルス感染症受診・相談センター  
(TEL 78-5670 ※24時間対応)

#1 生誕の地・穆園ひろばで  
高木兼寛公没後100年記念式典

ビタミンの父として知られる郷士の偉人・高木兼寛公の没後100年を偲び、3月21日に生誕の地である穆園ひろばで記念式典が開かれました。高木兼寛公は医師、実業家、そして政治家でもあるなど幅広い分野で活躍しました。医師としては日本人で初めてイギリスへ留学し、臨床医学を学びました。また、食事内容を変えることで脚気

(かっけ)の発症を大きく減らすことができていることを証明し、現在では「ビタミンの父」と呼ばれるなど、医療の世界で大きく貢献をしてきました。当日は清山知憲市長など約30人が参列、高木兼寛公の銅像に花を捧げ功績をたたえたほか、学校法人慈恵大学理事長、高木兼寛公の親族が映像で参加、穆佐小児童の合唱が映像で流れました。



桜が咲く中、没後100年を偲び、黙とうをする参列者。



参列者で記念撮影。高木兼寛公の功績をこれからも後世へ伝えていきたいと心をひとつにしました。

#2 東京2020パラリンピック日本代表選手を講師に  
ブラインドサッカー体験会

障がい者への理解と共生社会の実現を目的に、ブラインドサッカーの体験会が3月21日に開かれました。ブラインドサッカーとは、アイマスクを着けて、音の出るボールを用いてプレーするサッカーです。パラリンピックの競技でもあり、体験会には東京2020パラリンピックに日本代表として出場した寺西一選手が講師として招かれました。体験会には市内の小・

中学生と保護者の約30人が参加。アイマスクをした人が正確にドリブルやゴールができるように、互いに声を掛け合いながらチャレンジしていました。寺西選手は、「障がいがある人や病気で苦しんでいる人など誰もが生きやすい社会を、ブラインドサッカーを通してつくりていきたい」と共生社会の大切さを呼び掛けました。



アイマスクを着けてサッカーをすることの難しさと楽しさを体感した参加者たち。



講演会では寺西一選手がブラインドサッカーとの出会いや東京パラリンピックでの経験、これからの目標などを語りました。